

第1学年3組 音楽科学習指導案

平成25年11月12日(火) 第5校時
草加市立氷川小学校
場 所 1年3組教室
児童数 29名
指導者 吉川たえ

1 題材名 「たがいのおとをきこう」

2 題材について

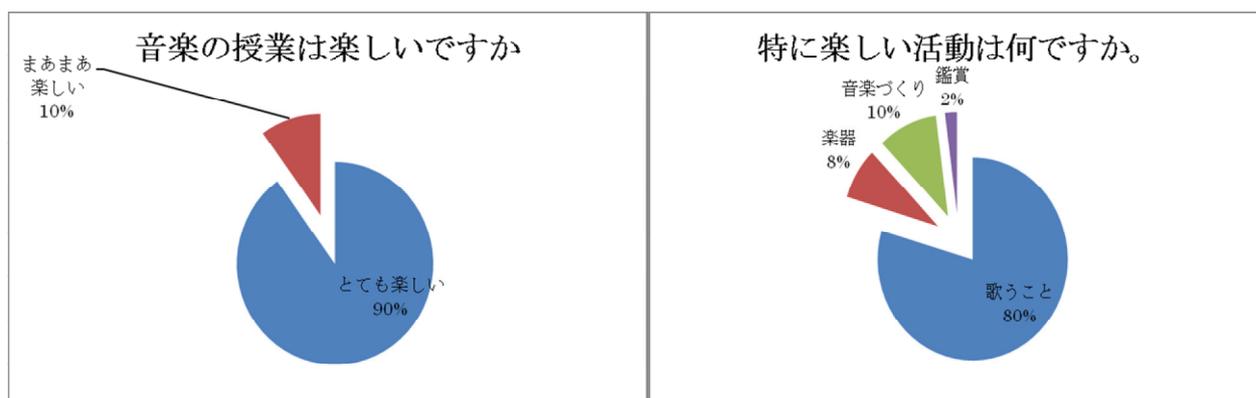
(1) 児童の実態

本学級の子ども達は、友達と声を合わせて楽しく歌ったり、リズムによって体を動かしたりすることが好きである。事前のアンケート(対象児童29名)からも音楽の授業が「とても楽しい」と回答した児童が90%(26名)であり、「まあまあ楽しい」も合わせると100%になる。理由として、「わらべうたやお手合わせをするのが楽しいから」「みんなで歌ったり踊ったりすることが好きだから」という理由が多くあった。

「音楽の授業で特に楽しい活動」については、歌唱が80%(23名)、楽器が8%(2名)、音楽づくり10%(3名)鑑賞2%(1名)という結果であった。楽器演奏は、「鍵盤ハーモニカがにがて」だと思っている児童もいることが分かった。

アンケート結果から分かるように、子ども達は歌う活動が好きな児童が多く、授業でも楽しく取り組んでいる。

しかし、拍の流れにのりながら、曲の感じをとらえて表現することまでには至っていない。そこで、音楽に対する楽しさや感受性が、ますます養われるこの時期に本題材を取り上げ、フレーズの感じの違いをとらえさせ、表現の楽しさを味わわせたい。



(2) 題材設定の意図

本題材は学習指導要領との関連 **A 表現 歌唱 エ 器楽 イ、エ** に即して進めていく。

歌ったり楽器を演奏したりする活動は、みんなの歌声や楽器の音を合わせることによって、さらにその楽しみの場を広げることができる。また、友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、みんなで合わせて演奏できる能力を育てることは、将来、美しい響きの合唱や合奏をするうえで、とても大切なことである。

本題材では、拍打ちやリズム打ちなどで体を動かしながら、曲の気分を感じ取る活動を十分行い、互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、みんなで気持ちを合わせて楽しく演奏する活動を中心に学習を展開していきたい。

3 題材の目標

- (1) 友だちの歌声や楽器の音に関心をもって、互いに聴き合いながら表現する活動に進んで取り組むようにする。 【音楽への関心・意欲・態度】
- (2) 互いの声や音を聴き合い、交互に歌うことのおもしろさを感じ取ったり、歌声や楽器の音が重なり合う響きを感じ、自分の思いをもって歌ったり演奏を工夫したりするようにする。 【音楽表現の創意工夫】
- (3) 友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、拍の流れにのって歌ったり、楽器を演奏するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 【音楽表現の技能】

4 教材について

- (1) 「あいあい」 相田裕美 作詞／宇野誠一郎 作曲
子どもたちに広く親しまれている曲で、2小節ごとに繰り返される「あいあい」の部分を交互唱として扱うことにより、互いの声を聴き合いながら楽しく活動することができる。
交互唱の方法も、<AグループとBグループ><先生とみんな>のように、いろいろな組み合わせで歌うことが考えられる。伴奏や歌声をよく聴いて、拍の流れにのって歌うことを大切にしていきたい。
- (2) 「やまびこごっこ」 おうちやすゆき 作詞／若月明人 作曲
NHKの幼児向けテレビ番組で発表された曲である。呼びかける側と答える側が、1小節ごとに同じフレーズを繰り返す楽しさを味わうことができる。また、音楽の構成の基本である「反復」を、楽しみながら学習することができる教材でもある。
- (3) 「とんくるりん ぱんくるりん」 滝紀子 作詞／川崎祥悦 作曲
3／4拍子、ハ長調
歌声による主旋律と楽器による副次的な旋律、さらに打楽器によるリズム伴奏が加わった教材で、歌声と楽器の音を合わせて表現する楽しさを味わうことができる。
また、低学年では比較的体験することの少ない3拍子の曲である。拍打ちをしたり、拍の流れにのって歌ったりする活動を通して、3拍子に対する感覚を育てることができる。
- (4) 「こいぬのマーチ」 久野静夫 作詞／黒澤吉徳 編曲
ド～ラの6音だけで構成されている曲で、鍵盤ハーモニカなどの楽器の学習のまとめとして扱いながら、合奏も楽しむことができる。鍵盤楽器を演奏するときは、階名唱をしてから活動を進めていく。
リズム伴奏は、拍の流れと同じ4分音符による簡単なものである。旋律楽器と打楽器を重ねて演奏するときは、それぞれのパートの音量のバランスなどに一人一人が気をつけながら演奏させたい。

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連及び具体的な学習活動

指導事項	歌唱エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。 歌唱イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。 エ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
〔共通事項〕ア イ	拍の流れ フレーズ 強弱 音楽の仕組み
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の気分を感じ取って歌い方を工夫する。 ・リズムの違いを感じ取って、演奏の仕方を工夫する。 ・音色に気をつけて、自分のパートの演奏の仕方を工夫する。 ・拍の流れにのって、互いの音を聴き合いながら、楽しく演奏する。

6 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準）

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
題材の評価規準	友だちの歌声や楽器の音に関心をもって、互いに聴き合いながら表現する学習に進んで取り組もうとしている。	互いの声や音を聴き合い、交互に歌うことのおもしろさを感じ取ったり、歌声や楽器の音が重なり合う響きを感じ、自分の思いをもって歌ったり演奏したりしている。	友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、拍の流れにのって歌ったり、楽器を演奏するための基礎的な技能を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	①楽曲の気分を感じ取り、楽しみながら進んで学習に取り組もうとしている。 ②友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、演奏しようとしている。	①楽曲の気分を感じ取り、思いをもって歌ったり演奏したりしている。 ②リズムや強弱の違いを感じ取り、思いをもって演奏している。 ③音色に気をつけて、思いをもって演奏をしている。	①音の高さの違いを感じ取り、階名で模唱している。 ②拍の流れにのって、互いの音を聴き合いながら、演奏している。 ③友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、歌ったり合奏したりしている。
1	①	①	
2			①③
3	①		②
4		②	
5	①	②	
⑥			②
7	②	①	
8		③	
9		①	
10	②		③

7 題材の指導と評価の計画

時	○学習内容・主な学習活動	・指導上の留意点 ☆具体的評価規準	[共通事項]
<第1次> ○互いの声を聴き合いながら歌う。			
1 2	○互いの歌声を聴き、声の出し方に気をつけて歌う。 ・範唱を聴きながら模唱したり音楽に合わせて体を動かしたりする。 ・交互唱になっていることに気付き、範唱に合わせて模唱・交互唱をする。 ・階名唱を楽しむ。 ・声の出し方に気をつけて歌う。	・声の出し方や表情を工夫して歌えるようにする。 ☆楽曲の気分を感じ取り、楽しみながら学習に進んで取り組もうとしている。 【ア① 活動観察】 ☆楽曲の気分を感じ取り、自分の思いをもち演奏している。 【イ① 演奏の聴取】	

		<p>☆音の高さの違いを感じ取り、階名唱をしている。</p> <p>【ウ① 演奏の聴取】</p> <p>☆友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、歌ったり合奏したりしている。</p> <p>【ウ③ 演奏の聴取】</p>	
<p><第2次> ○強弱の違いを感じ取り歌う。</p>			
3 4	<p>○強弱の違いを感じ取り、思いをもって歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまびこあそび」をして楽しむ。 ・拍の流れにのって交互唱をする。 ・強弱の違いを感じ取り、思いをもって歌う。 ・グループごとに、言葉を変えたりいろいろな強弱の山びこをつくりたりして発表し、互いに聴き合う。 	<p>☆「やまびこあそび」に興味をもって楽しんで活動したりしている。</p> <p>【ア① 活動観察】</p> <p>☆拍の流れにのって、交互唱をしている。</p> <p>【ウ② 演奏の聴取】</p> <p>☆強弱の違いを感じ取り、自分の思いをもって演奏している。</p> <p>【イ② 演奏の聴取】</p>	<p>拍の流れ 強弱</p>
<p><第3次>○拍の流れにのって、歌と楽器を合わせて演奏する。</p>			
5 ⑥	<p>○拍の流れにのって、歌と楽器を合わせて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3拍子の曲の気分を感じ取る。 ・拍の流れにのって副次的な旋律を演奏する。 ・リズムパートを加えて演奏の工夫を工夫する・ ・拍の流れにのって、歌と楽器を合わせて演奏する。 	<p>☆楽曲の気分を感じ取り、思いをもって学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【ア① 活動観察】</p> <p>☆リズムの違いを感じ取り、思いをもって演奏している。</p> <p>【イ② 演奏聴取】</p> <p>☆拍の流れにのって、互いの音を聴き合いながら、楽しく演奏している。</p> <p>【ウ② 演奏聴取】</p>	<p>拍の流れ フレーズ</p>
<p><第4次>○楽器の音を聴き合いながら合奏する。</p>			
7 8 9 10	<p>○楽器の音を聴き合いながら、合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の気分を感じ取って歌う。 ・歌に合わせてリズム伴奏の工夫を工夫する。 ・拍の流れにのって歌ったり合奏したりする。 	<p>☆楽曲の気分を感じ取り、自分の思いをもち演奏している。</p> <p>【イ① 演奏の聴取】</p> <p>☆友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、演奏しようとしている。</p> <p>【ア② 活動観察】</p> <p>☆友だちの歌声や楽器の音を聴きながら、歌ったり合奏したりしている。</p> <p>【ウ③ 演奏の聴取】</p>	<p>拍の流れ 音楽の仕組み</p>

8 本時の学習指導 (6 / 10)

(1) 目標

①拍の流れにのって、互いの音を聴き合いながら、演奏することができる。

(2) 展開

○学習内容・主な学習活動	・指導上の留意点 ☆具体の評価規準 (評価方法・手だて)	
<p>1 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今月の歌「もみじ」 ・クラスの歌 「けんけん ば」 「ちきゅうは ひろば」 <p>2 わらべうた・お手合わせ</p> <p>○2拍子・3拍子・4拍子の曲の気分を感じ取る</p> <p>「おちやらかほい」 「あんたがたどこさ」 「たべすきごりら」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍の流れにのって、わらべうたを歌ったり、お手合わせをしたりする <p>3 展開</p> <p>○本時の学習のめあてを知る。</p>	<p>・学習への意欲を高め、個別に声をかけほめる。</p> <p>・拍の流れを感じ取りながら演奏するように声をかける。</p> <p>・お手合わせや身振りをして、2拍子・3拍子・4拍子の気分を感じ取らせるようにする。</p>	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>
<p>はくのながれにのって、うたごえと がっきの おとを ききあいながら えんそうしよう</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・前時の確認をする。 ・各パートを歌ったり、演奏したりする。 <p>○拍の流れや互いの音の感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで、歌のグループと楽器のグループに分かれて練習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・拍の流れにのって、歌と楽器のグループを合わせて演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍の流れを感じ取りながら演奏するように声をかける。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の気分を感じ取って、歌い方を工夫するようにする。 ・拍の流れに乗りながら、演奏するようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・演奏が拍の流れに合うように、互いのパートをよく聴き合い、演奏するように気をつける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆拍の流れにのって、互いの音を聴き合いながら、演奏している。</p> <p>○音楽表現の技能【演奏の聴取】</p> </div> <p>○「おおむね満足できる (B)」と判断できる具体的な状況例 拍の流れにのり、他の楽器の音を聴き合いながら、演奏しようと</p>	<p>25</p>

<p>・グループごとに交代して、互いの演奏を聴き合い、友だちの演奏の良かった点などについて発表する。</p> <p>4 まとめ</p>	<p>している。</p> <p>○「十分満足できる (A)」と判断できる具体的な状況例 拍のまとまりを感じ取って、他の楽器の音を聴き合いながら、演奏しようとしている。</p> <p>○「努力を要する (C)」児童への支援例 拍の流れを感じられない児童に対して、まず音楽を聴くように示唆する。また、教師と向かい合って手拍子をしたり、演奏したりして、自然に拍のまとまりを感じられるように促す。 互いの音を聴き合いながら演奏できない児童に対して、周りの歌声や演奏を聴くように示唆する。</p> <p>・自分の演奏の音量は聴き取りにくいので、グループに分かれて聴き合い、互いにアドバイスするとよい。</p> <p>・よいところや改善すべき点を、グループで意見交換しながら練習をするように促す。</p> <p>・演奏しないグループもつくり、互いの音や声のバランスがとれているか、拍の流れにのっているかなど、観点をいくつか示して聴くようにし、演奏のよかった点、改善すべき点に気付くようにする。</p> <p>・よいところを取り入れたり、改善すべき点に気をつけたりして、合奏をまとめる。</p>	<p>5</p>
---	--	----------